

福島県知事 内堀 雅雄 様

公立大学法人会津大学
理事長 宮崎 敏明

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	会津大学
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	<input checked="" type="checkbox"/> (大学・短期大学・高等専門学校・専門学校)
大学等の所在地	福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合 90 番地
学長又は校長の氏名	宮崎 敏明
設置者の名称	公立大学法人会津大学
設置者の主たる事務所の所在地	福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合 90 番地
設置者の代表者の氏名	宮崎 敏明
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.u-aizu.ac.jp/information/

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

☐ 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

☒ 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

☒ この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。

☒ 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

☒ 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

☒ この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取

り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- ☒ 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	学生課 二瓶	0242-37-2514	cl-health-welfare@u-aizu.ac.jp
第2号の1	学生課 飯沼	0242-37-2600	sad-aas@u-aizu.ac.jp
第2号の2	総務予算課 佐藤	0242-37-2500	cl-general@u-aizu.ac.jp
第2号の3	学生課 飯沼	0242-37-2600	sad-aas@u-aizu.ac.jp
第2号の4	学生課 二瓶・飯沼・佐藤	0242-37-2514 0242-37-2600	cl-health-welfare@u-aizu.ac.jp sad-aas@u-aizu.ac.jp

○添付書類

- ※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点（☒）を付けた上で、これらの書類を添付してください。（設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。）

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- ☒ 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- ☐ 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- ☒ 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- ☒ 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- ☐ 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- ☒ 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	会津大学
設置者名	公立大学法人会津大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
コンピュータ理工学部	コンピュータ理工学科	夜・通信	158	158	158	158	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://u-aizu.ac.jp/curriculum/undergraduate/syllabus/ https://u-aizu.ac.jp/files/docs/Jitumu.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	会津大学
設置者名	公立大学法人会津大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://u-aizu.ac.jp/files/page/intro/riji_j.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	地方公務員	2022/4/1 ～ 2024/3/31	総務・財務
常勤	株式会社役員	2022/4/1 ～ 2024/3/31	管理・渉外
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	会津大学
設置者名	公立大学法人会津大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年 11 月、教務委員会において翌年度シラバス作成のための要領を検討・作成し、各授業担当責任者へ作成を依頼する。各授業担当責任者は、当該要領に基づき学務システムに必要事項を入力する。システムへの登録後、教務委員会の委員等が当該登録された内容を確認し、もし必要事項が不足している場合などは訂正させ、適切な情報を 2 月下旬に公表している。シラバスに含まれる主な情報は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の方法 ・ 授業の概要 ・ 授業の目的と到達目標 ・ 授業スケジュール ・ 教科書 ・ 成績評価の方法・基準 ・ 履修上の留意点 	
授業計画書の公表方法	https://www.u-aizu.ac.jp/curriculum/syllabus/ (授業の方法は学内システムで公開している)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目における成績評価については、シラバスに明示された、定期試験や課題提出状況に関する成績評価の方法に基づき学修成果を判定、採点され、当該採点に基づき評価される。また、科目ごとの成績は教務委員会、教授会へ報告されている。</p> <p>また、2 年生から 3 年生への進級に当たっては、修得単位数及び TOEIC の成績に関して要件が定められている。</p> <p>卒業論文については、学生便覧等で明示した評価方法に従い評価され、合格することで単位が認定される。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

1 成績評価、点数及びGPAの関係

評価	評点	判定	GP (Grade Point)
A	80点～100点	合格	4.0
B	65点～79点		3.0
C	50点～64点		2.0
D	35点～49点	不合格	0
F	34点以下		

2 GPA 算出方法

GPA =	$\frac{4.0 \times \text{Aの修得済単位数} + 3.0 \times \text{Bの修得済単位数} + 2.0 \times \text{Cの修得済単位数}}{\text{総履修科目単位数 (※D、Fの「不合格」評価の単位数を含む。)}} $
-------	--

上記のとおり、あらかじめ設定した算出方法に基づき GPA を算出している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.u-aizu.ac.jp/curriculum/guide/guide14.html>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学部ディプロマ・ポリシー</p> <p>【モチベーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生は、心身ともに健康であり、豊かな人間性を持つ。 ・卒業生は、豊かな創造性と健全な倫理観を備えている。 ・卒業生は、主体的・継続的に学習する能力を持つ。 ・卒業生は、異なった価値観や伝統や制度を持った異文化に関して深い認識を持つ。 <p>【コンピテンシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生は、幅広く教養を身につけている。 ・卒業生は、論理的な思考力や客観的判断力などの科学的思考力を持つ。 ・卒業生は、コンピュータ理工学の基礎知識と技術を持つ。 ・卒業生は、豊かなコミュニケーション能力に基づいて、チームの一員として働く能力を持つ。 <p>【スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生は、自らの思考・判断を説明するためのプレゼンテーション能力、ならびに、他者に情報を発信する能力を持つ。 ・卒業生は、英語による基礎的な職務能力を持ち、グローバル社会で活躍できる。 ・卒業生は、修得した知識・技術により地域社会及び国際社会の産業と文化の発展に寄与できる実践力を持つ。 ・卒業生は、コンピュータ・サイエンティスト又はコンピュータ・エンジニアとして活躍できる基礎力を備え、自立した社会人として活躍できる。 <p>上記ディプロマ・ポリシーを踏まえ、4年以上在学し、かつ履修規程に定める科目のカテゴリごとに設定された最低要求単位数を修得した上で、教養科目10単位以上、外国語科目15単位以上、専門教育科目95単位以上、卒業論文8単位の合計128単位以上を取得した学生を教務委員会、教授会で報告し、学長が卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.u-aizu.ac.jp/intro/outline/educationalinfo/education06-1.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	会津大学
設置者名	公立大学法人会津大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ https://www.u-aizu.ac.jp/intro/outline/zaimu/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ https://www.u-aizu.ac.jp/intro/outline/zaimu/
財産目録	－
事業報告書	ホームページ https://www.u-aizu.ac.jp/intro/outline/zaimu/
監事による監査報告（書）	ホームページ https://www.u-aizu.ac.jp/intro/outline/zaimu/

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：2022年度公立大学法人会津大学年度計画） 対象年度：2022年度）
公表方法： https://u-aizu.ac.jp/files/2022annualplan_j.pdf
中長期計画（名称：公立大学法人会津大学 第3期中期目標・中期計画） 対象年度：2018年4月1日から2024年3月31日まで）
公表方法： https://u-aizu.ac.jp/files/page/intro/20183rdMidtermPlan_j.pdf https://u-aizu.ac.jp/files/3rdMidtermplanrev_j.pdf （変更後）

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法： https://u-aizu.ac.jp/intro/outline/corporate/

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法： https://u-aizu.ac.jp/intro/outline/evaluation/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 コンピュータ理工学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.u-aizu.ac.jp/intro/outline/educationalinfo/education01-1.html ）
（概要）人材の育成に関する目的 （会津大学学則より） 第 1 条 会津大学（以下「本学」という。）は、深く専門の学芸を教授研究し、創造力豊かな国際的な人材を養成するとともに、学術文化の向上及び産業の発展に寄与することを目的とする。 教育上の目的 （会津大学学則より） 第 3 条 3 コンピュータ理工学部コンピュータ理工学科は、コンピュータ理工学に関する学芸を教授研究し、豊かな創造性と高い倫理を備え、地域社会及び国際社会の産業、文化の発展に寄与する研究者、技術者及び起業家精神を持つ人材の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.u-aizu.ac.jp/intro/policy/diploma/ ）
（概要） モチベーション ・卒業生は、心身ともに健康であり、豊かな人間性を持つ。 ・卒業生は、豊かな創造性と健全な倫理観を備えている。 ・卒業生は、主体的・継続的に学習する能力を持つ。 ・卒業生は、異なった価値観や伝統や制度を持った異文化に関して深い認識を持つ。 コンピテンシー ・卒業生は、幅広く教養を身につけている。 ・卒業生は、論理的な思考力や客観的判断力などの科学的思考力を持つ。 ・卒業生は、コンピュータ理工学の基礎知識と技術を持つ。 ・卒業生は、豊かなコミュニケーション能力に基づいて、チームの一員として働く能力を持つ。 スキル ・卒業生は、自らの思考・判断を説明するためのプレゼンテーション能力、ならびに、他者に情報を発信する能力を持つ。 ・卒業生は、英語による基礎的な職務能力を持ち、グローバル社会で活躍できる。 ・卒業生は、修得した知識・技術により地域社会及び国際社会の産業と文化の発展に寄与できる実践力を持つ。 ・卒業生は、コンピュータ・サイエンティスト又はコンピュータ・エンジニアとして活躍できる基礎力を備え、自立した社会人として活躍できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.u-aizu.ac.jp/intro/policy/curriculum/ ）
（概要）学士課程のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーで規定される 3 つの観点（モチベーション、コンピテンシー、スキル）を満たすように編成されている。教育内容・方法と学修成果の評価方法は科目群または科目ごとに個別に定める。科目群は、教養科目、外国語科目、専門基礎科目、専門科目、実践科目、卒業論文の 6 つで構成されている。また、教員免許取得に必要な教職科目や、課外プロジェクト等の自由単位科目も設置する。

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.u-aizu.ac.jp/intro/policy/admission/）</p>
<p>（概要）「求める学生像」 コンピュータ理工学を学ぶために必要な基礎学力を有し、かつ、下記に示すいずれかの項目に当てはまる人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旺盛な好奇心や新しい事柄に挑戦する気概を持ち、コンピュータ理工学を本当に学びたいと考え、会津大学を第一志望とする人 ・ ICT を用いて、広く世界に貢献したいと考えている人 <p>「入試選抜の基本方針」 会津大学では、最新のコンピュータ理工学を学ぶために必要な基礎学力、特に数学と英語の能力を確認する試験を課すこととしています。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：https://www.u-aizu.ac.jp/intro/outline/educationalinfo/</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	2 人	－					2 人
コンピュータ理工学	－	28 人	64 人	人	2 人	1 人	95 人
その他	－	3 人	8 人	人	人	人	11 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		20 人					20 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.u-aizu.ac.jp/intro/faculty/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
FD 推進委員会を設置し、学生集会、授業評価アンケート、講演会等を実施。教育の改善に取り組んでいる。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
コンピュータ理工学部	240 人	254 人	105.8%	960 人	1,085 人	113.0%	人	2 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	240 人	254 人	105.8%	960 人	1,085 人	113.0%	人	2 人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
コンピュータ理工学部	224 人 (100%)	84 人 (37.5%)	125 人 (55.8%)	15 人 (6.7%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	224 人 (100%)	84 人 (37.5%)	125 人 (55.8%)	15 人 (6.7%)
(主な進学先・就職先)（任意記載事項） 本学大学院等				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
コンピュータ 理工学部	247 人 (100%)	189 人 (76.5%)	38 人 (15.4%)	20 人 (8.1%)	0 人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	0 人 (%)
合計	247 人 (100%)	189 人 (76.5%)	38 人 (15.4%)	20 人 (8.1%)	0 人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) 【様式第2号の3より再掲】</p> <p>各授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表している。</p> <p>(シラバスに含まれる主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の方法 ・ 授業の概要 ・ 授業の目的と到達目標 ・ 授業スケジュール ・ 教科書 ・ 成績評価の方法・基準 ・ 履修上の留意点

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要) 【様式第2号の3より再掲】</p> <p>授業科目における成績評価については、シラバスに明示された、定期試験や課題提出状況に関する成績評価の方法に基づき学修成果を判定、採点され、当該採点に基づき評価される。卒業論文については、学生便覧等で明示した評価方法に従い評価され、合格することで単位が認定される。</p> <p>また、卒業認定は、ディプロマポリシーや学生の修得単位数等を踏まえて実施している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
コンピュータ 理工学	コンピュータ 理工学科	128 単位	有	56 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法： https://www.u-aizu.ac.jp/curriculum/guide/guide14.html		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： https://www.u-aizu.ac.jp/curriculum/		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://www.u-aizu.ac.jp/intro/facilities/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
コンピュータ理工学部	コンピュータ理工学科	520,800 円	福島県の住民 282,000 円 上記以外 564,000 円	0 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）修学支援室を設置し、修学支援員及び学生アシスタント指導のもと、日常的かつ継続的に学生の学習支援を行い、大学の講義では理解できないことも気軽に相談できる体制を整えている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要）就職支援室を設置し、2名の就職相談員がエントリーシートの添削・面接練習など幅広い就職支援を実施。進路選択・キャリア教育の面では、キャリアデザインという授業において、進路選択から具体的な就職活動の対策まで、企業担当者を招いた講義を実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）保健室に看護師を1名、また学生相談室にもカウンセラーを1名配置しており、定期健康診断や随時の相談対応、健康指導等を通じ、学生の身体的、精神的、社会的健康の保持、増進に取り組んでいる。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://u-aizu.ac.jp/research/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F107210101299
学校名	公立大学法人会津大学
設置者名	公立大学法人会津大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		99人	102人	106人
内 訳	第Ⅰ区分	48人	52人	
	第Ⅱ区分	31人	36人	
	第Ⅲ区分	20人	14人	
家計急変による支援対象者（年間）				2人
合計（年間）				108人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（2）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）	2人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	7人		
計	9人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期		後半期

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	9人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	9人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

会津大学 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

No.	科目名	担当教員名	単位数
1	CN03 ネットワークプログラミング CN03 Network Programming	チョオン コン タン	3
2	EL115 Analysis of English Sentence Structure EL115 Analysis of English Sentence Structure	金子 恵美子	2
3	EL152 Reading Fluency EL152 Reading Fluency	金子 恵美子	2
4	EL244 An Introduction to Cross-cultural Communication EL244 An Introduction to Cross-cultural Communication	ニコラス アラン	2
5	EL321 Pronunciation: Acoustic Analysis Using Software EL321 Pronunciation: Acoustic Analysis Using Software	ウィルソン イアン	2
6	EN01 Introductory English 1 EN01 Introductory English 1	ベンソン スチュアート	1
7	EN02 Introductory English 2 EN02 Introductory English 2	ベンソン スチュアート	1
8	EN03 Bridge 1 to Intermediate English EN03 Bridge 1 to Intermediate English	ニコラス アラン	2
9	EN04 Bridge 2 to Intermediate English EN04 Bridge 2 to Intermediate English	ニコラス アラン	2
10	FU01 アルゴリズムとデータ構造 I FU01 Algorithms and Data Structures I	渡部 有隆	4
11	FU02 情報理論と圧縮 FU02 Information Theory and Data Compression	出村 裕英	3
12	FU03 離散系論 FU03 Discrete Systems	森 和好	3
13	FU06 オペレーティングシステム論 FU06 Operating Systems	劉 勇	4
14	FU08 オートマトンと言語理論 FU08 Automata and Languages	鈴木 大郎	3
15	FU09 アルゴリズムとデータ構造 II FU09 Algorithms and Data Structures II	浅井 信吉	3
16	FU14 ソフトウェア工学概論 FU14 Intro. to Software Engineering	吉岡 廉太郎	3
17	FU15 データマネジメント概論 FU15 Introduction to Data Management	ピシキン エフゲニー	3
18	HS07 ジェンダー・セクシュアリティ論 HS07 Gender and Sexuality	荻間澤 勇人	2
19	HS19 会津の歴史と文化 HS19 Culture and History of Aizu	光永 祐司	2
20	IE03 ソフトウェア総合演習 I IE03 Integrated Exercise for Software I	渡部 有隆	3
21	IE04 ソフトウェア総合演習 II IE04 Integrated Exercise for Software II	吉岡 廉太郎	3
22	IT03 画像処理論 IT03 Image Processing	朱 欣	3
23	IT08 信号処理と線形システム IT08 Signal Processing and Linear System	陳 文西	4
24	IT09 音響音声処理論 IT09 Sound and Audio Processing	ヴィジェガス オロズ コ ジュリアン アルベ	3
25	LI01 コンピュータリテラシー LI01 Computer Literacy	平田 成	4

会津大学 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

No.	科目名	担当教員名	単位数
26	LI04 コンピュータシステム概論 LI04 Intro. Computer Systems	奥山 祐市	2
27	LI06 情報セキュリティ LI06 Information Security	中村 章人	2
28	LI07 情報と職業 LI07 Information & Occupations	荻間澤 勇人	2
29	LI09 システム開発とプロジェクトマネジメントの基礎 LI09 Fundamentals of System Development and Project Management	岩瀬 次郎	2
30	LI10 マルチメディアシステム概論 LI10 Introduction to Multimedia Systems	高橋 成雄	2
31	LI12 創造力開発スタジオ LI12 Creativity Studio	吉岡 廉太郎	2
32	LI13 コンピュータ理工学演習 I LI13 CSE Exercise I	北道 淳司	3
33	LI14 コンピュータ理工学演習 II LI14 CSE Exercise II	出村 裕英	3
34	MA08 応用代数 MA08 Applied Algebra	浅井 信吉	2
35	OT01-I ベンチャー基本コース各論 I OT01-I Basic Knowledge Course on Starting Up Ventures I	石橋 史朗	2
36	OT01-II ベンチャー基本コース各論 II OT01-II Basic Knowledge Course on Starting Up Ventures II	石橋 史朗	2
37	OT02-2 ベンチャー体験工房 2 OT02-2 Ventures Experience Workshops 2	出村 裕英	1
38	OT02-5 ベンチャー体験工房 5 OT02-5 Ventures Experience Workshops 5	朱 欣	1
39	OT02-6 ベンチャー体験工房 6 OT02-6 Ventures Experience Workshops 6	吉岡 廉太郎	1
40	OT02-9 ベンチャー体験工房 9 OT02-9 Ventures Experience Workshops 9	陳 文西	1
41	OT03-001 大規模分散Webインフラ構築入門 OT03-001 Practical Approach to Learning the Enterprise Distributed Web Infrastructure	阿部 泰裕	1
42	OT03-002 学内生活を便利にするアプリケーション・サービスを作ろう OT03-002 Let's develop an application for the better campus life	阿部 泰裕	1
43	OT03-004 月惑星データ解析&国際宇宙ステーションたんぽぽプロジェクト OT03-004 Lunar and Planetary Data Analysis + JAXA TANPOPO project on ISS	出村 裕英	1
44	OT03-010 課題解決型プロジェクト入門 - 理工系学生のための異文化理解及び地域イノベーション - OT03-010 Introduction to Problem Solving - Understanding the Intercultural Experiences and Regional Innovation for Engineering Students -	川口 立喜	1
45	OT10 課外活動コース II<インターンシップIII (シリコンバレーA) > OT10 Extracurricular Activity Course II <Internship III (Silicon Valley A)>	光永 祐司	2
46	OT10 課外活動コース II<インターンシップIII (大連) > OT10 Extracurricular Activity Course II <Internship III (Dalian)>	光永 祐司	2
47	OT10 課外活動コースII<インターンシップI (地域A) > OT10 Extracurricular activity course II <Internship I (Regional program A)>	光永 祐司	2
48	OT10 課外活動コースII<インターンシップI (地域B) > OT10 Extracurricular activity course II <Internship I (Regional program B)>	光永 祐司	2
49	OT10 課外活動コースII<インターンシップII (国内A) > OT10 Extracurricular activity course II <Internship II (Domestic program A)>	光永 祐司	2

会津大学 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

No.	科目名	担当教員名	単位数
50	OT10 課外活動コースII<インターンシップII (国内C) > OT10 Extracurricular activity course II <Internship II (Domestic program C)>	光永 祐司	2
51	OT10 課外活動コースII<インターンシップII (国内D) > OT10 Extracurricular activity course II <Internship II (Domestic program D)>	光永 祐司	2
52	OT10 課外活動コースII<インターンシップIII (海外 ベトナムA) > OT10 Extracurricular activity course II <Internship III (Overseas Vietnam A)>	光永 祐司	2
53	PA04 体育実技 4 PA04 Physical Activity 4	中澤 謙	1
54	PL01 プログラミング入門 PL01 Intro.Programming	大津山 公平	4
55	PL03 プログラミングJAVA I PL03 JAVA Programming I	渡部 有隆	4
56	PL05 コンピュータ言語論 PL05 Computer Languages	鈴木 大郎	3
57	SE04 ソフトウェア工学特論 SE04 Advanced Software Engineering	渡部 有隆	3
58	SE05 ソフトウェアスタジオ SE05 Software Studio	吉岡 廉太郎	3
59	TE01 教師入門 TE01 Introduction to Teaching	荻間澤 勇人	2
60	TE02 教育入門 TE02 Introduction to Education	荻間澤 勇人	2
61	TE07 数学科教育法 2 TE07 Mathematics Teaching Methods 2	荻間澤 勇人	2
62	TE08 数学科教育法 3 TE08 Mathematics Teaching Methods 3	荻間澤 勇人	2
63	TE12 道德教育 TE12 Moral Education	荻間澤 勇人	2
64	TE13 特別活動 TE13 Special Activities	荻間澤 勇人	2
65	TE14 生徒指導・教育相談 TE14 Student Guidance and Counseling	荻間澤 勇人	2
66	TE16 教育実習 1 TE16 Teaching Practicum 1	荻間澤 勇人	4
67	TE17 教育実習 2 TE17 Teaching Practicum 2	荻間澤 勇人	2
68	TE18 教育実習事前事後指導 TE18 Pre and Post Guidance for Teaching Practicum	荻間澤 勇人	1
69	TE20 教職実践演習 (中・高) TE20 Teaching Practice Exercises (Jr & Sr High)	荻間澤 勇人	2
70	TE21 特別支援教育入門 TE21 Introduction to Special Education	荻間澤 勇人	1
71	TE22 総合的な学習の時間の指導法 TE22 Teaching Methods for the Period of Integrated Studies	荻間澤 勇人	1
合計			158

CN03 ネットワークプログラミング (3単位)

授業の方法	講義,演習
授業の概要	The Internet is currently the main infrastructure to connect people and machines all over the world. This course covers the practical knowledge and skills to connect the computers, at application layer, transport layer, and network layer. Topics include Addresses and Protocols, Client-Server architecture, Socket basics, UDP/TCP sockets, App-layer networking, and Software Defined Network (SDN). Students are required to take the L11 course to have basic concepts of networking, from application to link-layer layers.
授業の目的と到達目標	Student will learn (1) knowledge of practical protocols used in the ICT Industry, (2) ability to build client-server based applications using the Socket APIs, (3) experience to compare and critique various networking solutions.
授業スケジュール	<p>Lectures:</p> <p>Lec. 1: Introduction: Internet architecture and layers</p> <p>Lec. 2: Introduction: Internet architecture and layers (cont.)</p> <p>Lec. 3: Basics of Transport layer and sockets</p> <p>Lec. 4: Basics of Transport layer and sockets (cont.)</p> <p>Lec. 5: UDP protocol and programming</p> <p>Lec. 6: UDP protocol and programming (cont.)</p> <p>Lec. 7: TCP protocol and programming</p> <p>Lec. 8: Mid-term exam</p> <p>Lec. 9: TCP protocol and programming (cont.)</p> <p>Lec. 10: Client-Server paradigm and programming</p> <p>Lec. 11: Client-Server paradigm and programming (cont.)</p> <p>Lec. 12: Application layer protocols and programming</p> <p>Lec. 13: Application layer protocols and programming (cont.)</p> <p>Lec. 14: Software Defined Network</p> <p>Final Exam</p> <p>Exercises:</p> <p>- One lab exercise and homework questions are assigned every two weeks.</p>
教科書	"Computer Networking: Top Down Approach Featuring Network", by J. F. Kurose and K. W. Ross (7th edition)
成績評価の方法・基準	<p>- Quizzes: 15%</p> <p>- Exercise reports: 45%</p> <p>- Mid-term exam: 20%</p> <p>- Final exam: 20%</p>
履修上の留意点	All classes are taught in English
参考(授業ホームページ、図書など)	<p>web-int.u-aizu.ac.jp/~thang/cno/</p> <p>web-int.u-aizu.ac.jp/~thang/cno/</p> <p>The course instructor C.T. Truong has practical working experiences in network programming. He worked for Electronics and Telecommunications Research Institute (ETRI) of South Korea for 5 years where he was involved in R&D of multimedia communications and networking. He also actively contributed in ISO/IEC & ITU-T standards related to IPTV and video streaming for more than 10 years.</p> <p>授業形態：講義,演習</p>

EL115 Analysis of English Sentence Structure (2単位)

授業の方法	Lecture
授業の概要	<p>**This class will be offered in the flipped-classroom style.</p> <p>Students will analyze sentences at the micro level and manually draw tree diagrams both in class and as assignments. We will start from simple to more complex sentences and give enough time to learn diagramming techniques.</p>
授業の目的と到達目標	By the end of the course, students will acquire sufficient knowledge about sentence structures and be able to analyze sentences syntactically by themselves.
授業スケジュール	<p>Class 1 Introduction, grammar terms</p> <p>Class 2 Noun phrases</p> <p>Class 3 Noun phrases (diagram)</p> <p>Class 4 Noun phrases (diagram)</p> <p>Class 5 Noun phrases (diagram)</p> <p>Class 6 Midterm Examination</p> <p>Class 7 Verb phrases</p> <p>Class 8 Verb phrases</p> <p>Class 9 Tense and aspect</p> <p>Class 10 Three kinds of objects 1</p> <p>Class 11 Three kinds of objects 2</p> <p>Class 12 Adjectival/adverbial</p> <p>Class 13 Review for the review test</p> <p>Class 14 Review test</p> <p>Final Exam Week TOEIC online</p>
教科書	<p>Uploaded in the course site</p> <p>Students are required to watch a video and do all the exercises and homework before class.</p> <p>If students do not bring homework to class, they will be marked as "absent".</p>
成績評価の方法・基準	<p>1. Class Participation (Presentations and participation in group work) [10%]</p> <p>2. In-class and homework assignments/quizzes [15%]</p> <p>3. Midterm Exam [35%]</p> <p>4. Review test [40%]</p> <p>*Students are required to take the TOEIC test in class during the final exam week to pass this course</p>
履修上の留意点	<p>- This class will be offered in the flipped-classroom style.</p> <p>- Successful completion of English Strongly Recommended Courses is highly recommended.</p>
参考(授業ホームページ、図書など)	<p>The course instructor, Emiko Kaneko, worked in Gakken School Management as an English instructor and an academic administrator. She was also in charge of the development and the quality maintenance of English speaking tests in ALC Press.</p> <p>For more information about flipped classroom.</p> <p>https://facultyinnovate.utexas.edu/instructional-strategies/flipped-classroom</p>

EL152 Reading Fluency (2単位)

授業の方法	Lecture
授業の概要	<p>You will practice both "extensive" and "intensive" reading in this class. Extensive reading (ER), the activity that you had in the first year, is believed to improve overall language ability if enough number of words is read. In this course, students will read more than 40,000 words of graded readers and write and present a book report at the end of the quarter.</p> <p>Intensive reading is a way of reading difficult text by analyzing the structure and meaning, possible with a dictionary. This course will attempt to improve your overall reading fluency by reading English in these two ways.</p>
授業の目的と到達目標	This class is to develop reading fluency (reading and understanding English text quickly). The goal of this course is to read more than 40,000 words in three months and present book reports as well as getting used to reading academic text such as abstracts of research papers.
授業スケジュール	<p>Class 1 Introduction, reading speed check</p> <p>Class 2 Intensive reading 1</p> <p>Class 3 Book report and Extensive reading 1 [read 5,000 words]</p> <p>Class 4 Intensive reading 2</p> <p>Class 5 Book report and Extensive reading 2 [read 10,000 words]</p> <p>Class 6 Intensive reading 3</p> <p>Class 7 Book report and Extensive reading 3</p> <p>Class 8 Midterm exam</p> <p>Class 9 Intensive reading 4 [read 25,000 words]</p> <p>Class 10 Intensive reading 5</p> <p>Class 11 Book report 5/How to present a book report</p> <p>Class 12 Students' presentation 1</p> <p>Class 13 Students' presentation 2</p> <p>Class 14 Review test [read 40,000 words]</p> <p>Final Exam Week TOEIC online</p>
教科書	<p>Graded readers are found in the library. Some of them are available online.</p> <p>Supplementary materials will be distributed in class.</p>
成績評価の方法・基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. Number of words and books that you have read [30%] 2. Midterm Exam [20%] 3. Review test [20%] 4. Book report [10%] 5. Slides and presentation [15%] 6. Active class participation [5%] <p>*Students are required to take the TOEIC test in class during the final exam week to pass this course</p>
履修上の留意点	<p>- You need to spend time reading graded readers outside the class.</p> <p>- Successful completion of English Strongly Recommended Courses is highly recommended.</p>
参考(授業ホームページ、図書など)	<p>The course instructor, Emiko Kaneko, worked in Gakken School Management as an English instructor and an academic administrator. She was also in charge of the development and the quality maintenance of English speaking tests in ALC Press.</p> <p>About extensive reading http://www.toyota-ct.ac.jp/intro/education/student_support/tadoku.html </p>

EL244 An Introduction to Cross-cultural Communication (2単位)

授業の方法	Lecture
授業の概要	In this course, learners' awareness of cultural differences and the ways in which these differences are realized in communication will be raised. Learners will practice and develop all four language skills (reading, writing, listening & speaking), and will build their vocabulary. Materials for the course will be provided by the instructor, via Moodle.
授業の目的と到達目標	By the end of the course, learners will: a) have a basic understanding of the concepts of collectivism and individualism in relation to culture b) have some understanding of other prominent cross-cultural research and theories, including high/low context communication and orientation to time; c) have an understanding of research-based insights into Japanese culture and communication styles d) be able to compare and contrast their own communication styles with those of other cultures
授業スケジュール	Class 1: Introduction to the course Class 2: Defining "culture" and "cross-cultural communication" Class 3: Individualism versus collectivism: the work of Hofstede Class 4: Individualism & collectivism: continued Class 5: Hierarchical & democratic cultures Class 6: Power-distance Class 7: High versus low-context communication styles: the work of Hall Class 8: Non-verbal behavior communication & culture Class 9: Non-verbal communication and culture Class 10: Conversation & Social context Class 11: Conversation & Social context Class 12: End-term Project Class 13: End-term project Class 14: Review activity/test Final exam week: TOEIC online
教科書	All materials are provided by the instructor.
成績評価の方法・基準	Active participation: 10% End-term exam: 30% Project: 25% In-class activities/assignments: 35% Students are required to take the TOEIC test in class during the final exam week to pass this course.
履修上の留意点	All materials are provided by the instructor in class and/or via Moodle. Every student must enroll in the course through Moodle. Weekly announcements will be uploaded on the course page on Moodle. Please check Moodle for detailed information on assignments or other course information. Please contact your professor if you have any problems accessing the website. If you have problems with your login, please contact or visit SSB (RQ 207-E). It is required that students take quizzes and exams individually; cheating/plagiarizing other's work will not be tolerated. There are no set requirements. However, learners are expected to have completed 1st and 2nd year English core courses.
参考(授業ホームページ、図書など)	The instructor has work experience in private industry.

EL321 Pronunciation: Acoustic Analysis Using Software (2単位)

授業の方法	Lecture
授業の概要	In this course, open-source acoustic analysis software ("Praat") will be mastered so that students have skills to analyze speech/pronunciation beyond the classroom. Students will be taught about properties of the acoustic signal and they will be taught how to write Praat scripts to automate acoustic analysis. Students will sometimes be required to submit voice recordings demonstrating their pronunciation. This course provides basic phonetic knowledge that is necessary for work in fields such as speech recognition and speech synthesis.
授業の目的と到達目標	By the end of the course, students will: (a) have learned the English vocabulary for acoustics concepts (b) have acquired detailed knowledge of how to use Praat software, including writing scripts to automate acoustic measurements and to manipulate sounds (c) know how to use waveforms and spectrograms to analyze properties of speech such as formant patterns, duration, intensity, pitch (including sentence intonation), voice onset time (VOT), etc. (d) know the acoustic properties of English vowels, including schwa (e) have had much practice pronouncing English words and sentences
授業スケジュール	Class 1: Introduction to the course and to Praat software; initial recording Class 2: Acoustics glossary; English vowel acoustics Class 3: Using TextGrid files to label sounds in Praat Class 4: Praat script writing 1 Class 5: Praat script writing 2; homework assignment Class 6: Manipulation of Pitch and Duration Class 7: Intonation and rhythm in English Class 8: Midterm exam Class 9: English schwa - acoustic properties Class 10: Praat environments; acoustics of /r/ and /l/ Class 11: Praat script writing 3; Form...Endform Class 12: Reading speed; Pausing during speech; voice onset time (VOT) Class 13: World Englishes; Final recording Class 14: Review activity/test Final exam week: TOEIC online
教科書	Materials will be distributed in class or on the class website. This course will be organized in Moodle. Students will use Praat open-source software in class on iMac computers, make recordings, and analyze their pronunciation. Note that Praat is free to download from the Praat website, if you want to download it to your own computer.
成績評価の方法・基準	Active participation and quizzes: 20% Homework assignments: 20% Midterm exam: 30% Review activity/test: 30% Students are required to take the TOEIC test in class during the final exam week to pass this course.
履修上の留意点	
参考(授業ホームページ、図書など)	The course instructor Ian Wilson has practical working experience. He worked for GEOS Corporation for 8 years, where he was involved in teaching English-as-a-Foreign-Language (EFL) and training EFL teachers. Based on his experience, he can teach all 4 skills (speaking, listening, reading, writing) of EFL. Praat website here: Praat website Prof. Ian Wilson's YouTube channel: Ian Wilson - YouTube CLR Phonetics Lab website: CLR Phonetics Lab Class:Lecture

EN01 Introductory English 1 (1単位)

授業の方法	Lecture
授業の概要	<p>This course aims to develop learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for both general communication and for computer science-related topics. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of useful and important vocabulary. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes related to their real life needs and computer science, developing their ability to discuss issues and think critically.</p> <p>Course components: The course includes:</p> <ul style="list-style-type: none"> • In-class activities/homework- Your instructor will sometimes give activities or tasks in class, or sometimes assign homework tasks. These tasks will be graded, and will contribute to your overall final grade. There will also be final larger tasks at the end of every course unit. • Vocabulary quizzes- there will be regular vocabulary quizzes throughout the course, based high frequency words in the English language. Your vocabulary quiz scores contribute to your overall final course grade. You can take each quiz only once. <ol style="list-style-type: none"> 1. You will take each quiz online. 2. Study the assigned words before you take the quiz. 3. There is a 10-minute time limit. 4. Vocabulary quizzes account for 15% of your final grade. • Final exam- a final exam will be administered for this course. Make-up exams will only be allowed for legitimate reasons (such as illness or a family emergency). • Speaking assignment- you will be required to complete an assignment in which you will need to speak English. Your score will contribute towards your overall final grade. <p>***Important***</p> <p>In order to pass this course, students must also complete:</p> <ul style="list-style-type: none"> • TOEIC e-learning (Kickoff for TOEIC)- students must take: <ul style="list-style-type: none"> o at least 3 mock exams (1 in Q1; 1 in Q2 and 1 in Q3) o pass 51 units or more in total (17 units in Q1; 17 units in Q2 and 17 units in Q3). To pass a unit, you must score 65% or higher (re-takers who did not take IE1 or IE2 must complete 17 units by the due date) <p>***Important: You must complete the TOEIC e-learning in order to pass Introductory 1.</p>
授業の目的と到達目標	<p>By the end of this course, learners will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Increase their fluency in English language reading, writing, speaking and listening; • Become more effective independent language learners, practicing and incorporating learning strategies into their English language studies. • Further develop their understanding of high frequency English vocabulary and use their knowledge with increased speed; • Carry out a number of English language tasks connected to relevant general and specific purposes topics.
授業スケジュール	<p>Class 1: Introduction to course Class 2: Unit 1-1 Class 3: Unit 1-2 Class 4: Unit 1-3 Class 5: Unit 1-4 Class 6: Unit 2-1 Class 7: Unit 2-2 Class 8: Unit 2-3 Class 9: Unit 2-4 Class 10: Unit 3-1 Class 11: Unit 3-2 Class 12: Unit 3-3 Class 13: Unit 3-4 Class 14: Speaking assignment</p> <p>***There will also be a final exam during exam week.***</p>
教科書	All materials are provided by the instructor.
成績評価の方法・基準	<p>Active participation: 5% Vocabulary quizzes: 15% Speaking assignment: 10% In-class activities/homework assignments: 35% Final exam: 35%</p>
履修上の留意点	<p>All materials are provided by the instructor in class and/or via Moodle.</p> <p>Every student must enroll in the course through Moodle. Announcements will be uploaded on the course page on Moodle. Please check Moodle for detailed information on assignments or other course information. Please contact your professor if you have any problems accessing the website. If you have problems with your login, please contact or visit SSB (RQ 207-E).</p> <p>It is required that students take quizzes and exams individually; cheating/plagiarizing other's work will not be tolerated.</p>
参考(授業ホームページ、図書など)	Instructors in this course have work experience in private industry.

EN02 Introductory English 2 (1単位)

授業の方法	Lecture
授業の概要	<p>This course aims to develop learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for both general communication and for computer science-related topics. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of useful and important vocabulary. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes related to their real life needs and computer science, developing their ability to discuss issues and think critically.</p> <p>Course components: The course includes:</p> <ul style="list-style-type: none"> • In-class activities/homework- Your instructor will sometimes give activities or tasks in class, or sometimes assign homework tasks. These tasks will be graded, and will contribute to your overall final grade. There will also be final larger tasks at the end of every course unit. • Vocabulary quizzes- there will be regular vocabulary quizzes throughout the course, based high frequency words in the English language. Your vocabulary quiz scores contribute to your overall final course grade. You can take each quiz only once. <ol style="list-style-type: none"> 1. You will take each quiz online. 2. Study the assigned words before you take the quiz. 3. There is a 10-minute time limit. 4. Vocabulary quizzes account for 15% of your final grade. • Final exam- a final exam will be administered for this course. Make-up exams will only be allowed for legitimate reasons (such as illness or a family emergency). • Speaking assignment- you will be required to complete an assignment in which you will need to speak English. Your score will contribute towards your overall final grade. <p>***Important***</p> <p>In order to pass this course, students must also complete:</p> <ul style="list-style-type: none"> • TOEIC e-learning (Kickoff for TOEIC)- students must take: <ul style="list-style-type: none"> o at least 3 mock exams (1 in Q1; 1 in Q2 and 1 in Q3) o pass 51 units or more in total (17 units in Q1; 17 units in Q2 and 17 units in Q3). To pass a unit, you must score 65% or higher (re-takers who did not take IE1 or IE2 must complete 17 units by the due date) <p>***Important: You must complete the TOEIC e-learning in order to pass Introductory 2.</p>
授業の目的と到達目標	<p>By the end of this course, learners will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Increase their fluency in English language reading, writing, speaking and listening; • Become more effective independent language learners, practicing and incorporating learning strategies into their English language studies. • Further develop their understanding of high frequency English vocabulary and use their knowledge with increased speed; • Carry out a number of English language tasks connected to relevant general and specific purposes topics.
授業スケジュール	<p>Class 1: Introduction to course Class 2: Unit 4-1 Class 3: Unit 4-2 Class 4: Unit 4-3 Class 5: Unit 4-4 Class 6: Unit 5-1 Class 7: Unit 5-2 Class 8: Unit 5-3 Class 9: Unit 5-4 Class 10: Unit 6-1 Class 11: Unit 6-2 Class 12: Unit 6-3 Class 13: Unit 6-4 Class 14: Speaking assignment</p> <p>***There will also be a final exam during exam week.***</p>
教科書	All materials are provided by the instructor.
成績評価の方法・基準	<p>Active participation: 5% Vocabulary quizzes: 15% Speaking assignment: 10% In-class activities/homework assignments: 35% Final exam: 35%</p>
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> • All materials are provided by the instructor in class and/or via Moodle. <p>Every student must enroll in the course through Moodle. Announcements will be uploaded on the course page on Moodle. Please check Moodle for detailed information on assignments or other course information. Please contact your professor if you have any problems accessing the website. If you have problems with your login, please contact or visit SSB (RQ 207-E).</p> <p>It is required that students take quizzes and exams individually; cheating/plagiarizing other's work will not be tolerated.</p>
参考(授業ホームページ、図書など)	Instructors in this course have work experience in private industry.

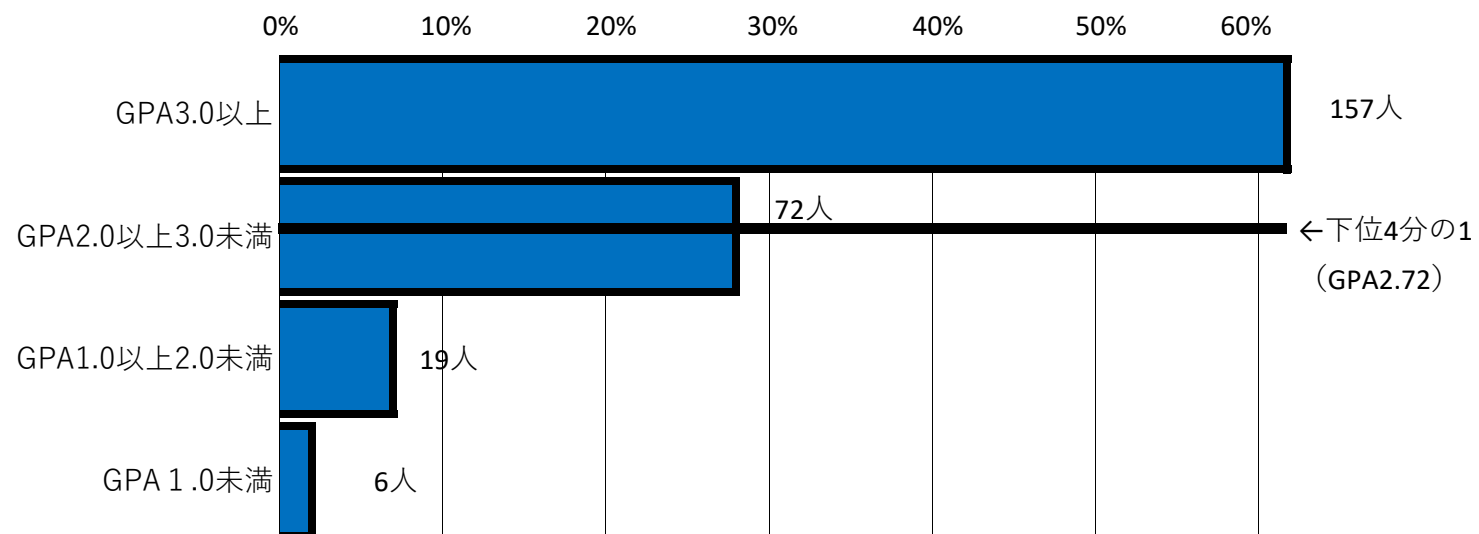
公立大学法人会津大学役員

2022年4月1日現在

役 職	氏 名	所掌事務
理事長	宮崎 敏明	
副理事長（副学長及びコンピュータ理工学研究科長兼務）	趙 強福	研究担当
理事（事務局長兼務）	阿部 俊彦	総務・財務担当
理事（コンピュータ理工学部長兼務）	ベン アブダラ アブデラゼク	教育・学務担当
理事	岩瀬 次郎	管理・渉外担当
理事（短期大学部長兼務）	鈴木 秀子	短期大学部担当

2021年度コンピュータ理工学部 第1学年（学生数254人）

GPAの数値の分布状況（単位：人）



下位4分の1：GPA2.72以下（64名）

【会津大学学部等一覧】

○ コンピュータ理工学部